

本格ミステリーを 楽しむ法

鮎川哲也推理エッセイ大全



晶文社

著者について

鮎川哲也（あゆかわ・てつや）

昭和二十五年、処女長編『ペトロフ事件』を
発表。昭和三十一年、講談社の新人長編懸賞
募集に『黒いトランク』が当選。昭和三十
五年、『黒い白鳥』と『憎悪の化石』で第十三回
日本探偵作家クラブ賞を受賞。その後『偽り
の墳墓』『死のある風景』『準急ながら』『鍵孔
のない扉』などの作品を発表。文字通り本格
推理小説の第一人者として熱烈な読者を持
つ。小説以外の作品に『幻の探偵作家を求め
て』（晶文社）がある。

本格ミステリーを楽しむほう

鮎川哲也推理エッセイ大全

一九八六年 九月二〇日初版

一九八六年一〇月三〇日二刷

著者 鮎川哲也

発行者 株式会社晶文社

東京都千代田区外神田二一―一二

電話東京二五五局四五〇一（代表）・四五〇三（編集）

振替東京六一六二七九九

あづま堂印刷・美行製本

© 1986 Tetsuya AYUKAWA

Printed in Japan

本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写複製（コピー）することは、法律で認められた場合を除き、著作者および出版社の権利の侵害となりますので、その場合には予め小社あて許諾を求めてください。

（検印廃止）落丁・乱丁本はお取替えいたします。

本格ミステリーを 楽しむ法

鮎川哲也
推理エッセイ大全



晶文社

ブックデザイン
平野甲賀

本格ミステリーを楽しむ法 目次

1 本格推理を楽しむ法

本格推理を楽しむ法	57
ポアロ殺し	53
題名考	50
代作懺悔	44
最近の新人群	40
『樽』私見	33
対話	28
ある疑問	25
プリミチヴな密室殺人	23
無題	21
推理小説との出会い	17

カー雑感	61
わが幻の時刻表	65
ミステリと時刻表	74
クイーンはフェアプレーを重視した作家	85
クイーンとわたし	88
蒼井氏と『船富家』	90
アリバイ・トリックについて	95
トリック問答	105
『樽』のアラ探し	110
エラリの秘密	114
スラデック『見えないグリーン』	117
アシモフ『黒後家蜘蛛の会』	123

2 推理作家たちのこと

江戸川乱歩先生	
江戸川先生のこと・	135
『影男』解説・	138
ある夏の夜・	143
横溝正史先生	
短麵の頃・	147
プラスとマイナスと・	150
高木彬光氏	
高木氏寸感・	154
親友から見た高木彬光・	157
坪田宏論	160
狩久氏の思い出	164

仁木悦子さんと「霧の会」のことなど……

渡辺剣次氏

168

藤村正太氏

藤村さんの受賞・

178

好奇心のつよい人・

179

最後の会話・

181

土屋隆夫氏

186

淡い思い出話

193

緋沙子考

196

多岐川恭氏

200

斎藤栄氏

205

西村京太郎氏

209

山村美紗さん

213

内田康夫氏

218

3 こうして推理作家になった

私の少年時代	225
入道雲	233
風のうた	235
唱歌	238
人形芝居	241
甘い話	245
旅とわたし	248
アンソールの探偵趣味	252
球磨川奥の山村物語	260
鮎と湯前線	269
殺人犯の手紙	274
編集長交遊録	276

『赤い密室』の頃 291
『ペトロフ事件』『憎悪の化石』のことなど 306

岡大師橋 310

ポロさん 313

その夜のこと 316

受賞雑感・ 317

木々氏の親切・ 317

4 私的日常 私の音楽

夢 321

七福神巡り 325

痛風記 329

リス 335

初めての寝酒 338

「ミミっちい」小瓶党	342
音楽と推理小説	346
歌曲好き	350
レコード・トリック・ミステリー	352
「白鳥の歌」の推理	364
歌曲中毒の記	367
サリエリが犯人だなんて……	370
5 私を書いた推理小説	
ペトロフ事件	379
赤い密室	385
黒いトランク	392
りら荘事件	398

鮎川哲也書誌	山前讓編	463
あとがき		461
評論家について		454
達也が嗤う		450
風の証言		444
積木の塔		438
宛先不明		435
死のある風景		430
偽りの墳墓		426
砂の城		421
人それを情死と呼ぶ		418
黒い白鳥		410
憎悪の化石		405